



2025 年度 CSR 報告書

株式会社関東マツダ
管理部 人事総務グループ

OUR CORPORATE PHILOSOPHY — 企業理念 —

関東マツダは、三方良しの経営を実践し人の幸せと社会の発展に貢献します

1. お客様満足 (CS) 私たちはクルマを愛するすべてのお客様に、マツダ車を通じて「走る歓び」を提供します。
2. 社員満足 (ES) 私たちは社員一人ひとりを尊重し、仕事を通じて豊かな人生を送れる環境を整えます。
3. 社会的責任 (CSR) 私たちは地域社会との共存・共栄を目指し、社会貢献活動を推進します。

OUR VISION — ビジョン —

『みんなから愛され社員が誇れる会社』

OUR MISSION — 行動指針 —

信頼獲得	私たちはお客様の良き相談相手になります (お客様)
夢・希望・誇り	私たちは向上心を持ち何事においても正しく行動します (自分)
チームワーク	私たちは互いに感謝し称賛することを忘れません (仲間)
社会貢献	私たちは地域と絆を深め環境に優しい活動をしします (社会)

～ 環境経営の取り組み ～

関東マツダ環境方針

<基本理念>

株式会社関東マツダは、自動車販売・整備などの全ての事業活動において自然との調和を図りながら、地球環境の保護と豊かな社会づくりに貢献します。

<環境保全への行動指針>

1. 環境に関する法規則を遵守します。
2. 限りある資源を大切にするため、省資源・省エネルギーに努めます。
3. お客様に環境対策車への代替提案を促進し、環境負荷の低減を促進します。
4. 使用済み自動車の適正処理、リサイクルを促進します。
5. お客様の車両の点検整備を的確にサポートし、公害防止、省エネルギーを促進します。
6. 循環型社会に向けて、廃棄物の削減・再使用・再利用活動を推進します。
7. 環境に配慮した製品の提供及びグリーン購入を推進します。
8. 環境改善目標を定め、継続的な環境改善活動を実践します。
9. 環境に関する社会の要請に積極的に耳を傾け、企業活動に反映させます。
10. 全従業員にこの環境方針を周知徹底するとともに、環境活動レポートを作成し、公表します。

代表取締役社長 鈎持 豊

◆ エコアクション 21 の取り組み



私たちは環境省が策定した環境マネジメントシステムである「エコアクション 21」に継続的に取り組んでおります。

職場内の省資源・省エネルギー・廃棄物削減の取り組み、環境法令の遵守に加え、自動車に携わる私たちが出来る「環境に優しい製品・サービスの提供」を行っていきます。

例えば、低燃費車両・エコ商品の販売、お客様のお車の点検整備を的確に実施し、省燃費の維持・公害防止に貢献していきます。



◆ 関東マツダ掃除道の取り組み



2018 年 1 月より KSD=「関東マツダ(K) 掃除(S) 道(D)」をスタート。

掃除を単なる作業ではなく、「人の心まできれいにする掃除道(そうじどう)」を目指しています。

スタッフ全員で職場内外の清掃を有効かつ計画的に実施することで、清潔が保てるだけでなく、「気づくチカラ」を養い社員の心も磨いていきます。

- ① 社員は勿論のこと、お客様により一層快適にご利用いただくために、お客様視点を持ったスタッフ全員の「目」で職場内外をチェックすることで新しい気づきが生まれます。
- ② 全社員の意識と行動が変わり「6S 活動」が日々当然の様に実施されていき、「安全衛生的な」職場環境を常態化させ、お客様のための「感動空間」を実現させていきます。
- ③ 美観・衛生向上だけでなく、バックヤード等の整理整頓の推進。事務用品を繰り返し有効に使用する「リユース」、工機具などの日々メンテナンスで製品寿命を延ばす「リデュース」活動の推進。

(掃除道の一例)



店舗スタッフと協力して伸びた植栽の剪定を実施

◆ エコキャップ回収運動の取り組み



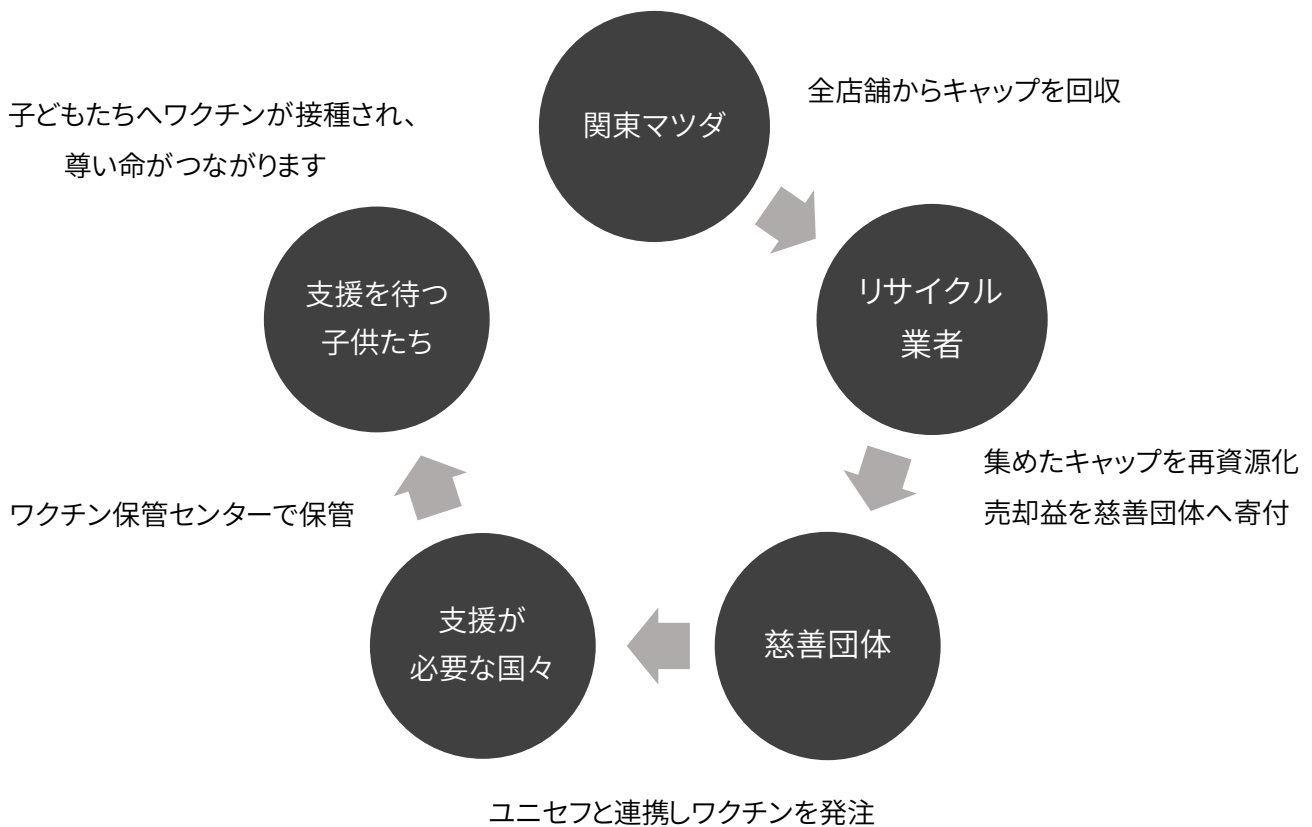
2018 年 10 月から本社・店舗にてエコキャップ回収運動に取り組んでいます。

この運動は個人でも取り組める資源再利用運動でペットボトルキャップを中心に、環境、資源、福祉といったテーマに参加でき、社会貢献も出来る取り組みとして始めました。

日々の活動の中で、社員が正しくゴミを分別しこれまで廃棄していたキャップの回収を始めたことで職場内の整理整頓を見直すことができ、働きやすい環境づくりにもつながりました。

回収されたエコキャップを再利用することで得られた売却益(エコキャップ 500 個で 10 円)は慈善団体を通じてポリオワクチンの購入費用に充て、世界中で使われております。発展途上国に送られる冷凍ポリオワクチンは、1 人分 20 円(エコキャップ 1,000 個)で購入でき、1 人の子どもの命を救うことができます。一方、これまでと同様にゴミとして焼却処分されると、キャップ 1Kg(約 500 個)で約 3,150g の CO₂ が発生します。このことから CO₂ の排出を抑えるため、キャップをプラスチック資材の原料として再資源化することは、大きな社会貢献につながっていきます。

エコキャップがワクチンに変わるまで



エコキャップ取組実績

	重量	個数	ワクチン (何人分)	削減した CO2 (Kg)
2023 年度	500kg	250,000 個	250 人	1,575kg
2024 年度	514kg	257,000 個	257 人	1,619.1kg
2025 年度	460kg	230,000 個	230 人	1,449kg
これまでの合計 (2018 年 10 月から)	3,580kg	1,721,610 個	1,780 人	11,277.1kg



※2020 年7月以前は 860 個で一人分のワクチンを購入、430 個で約 3,150gの CO2 が削減できました
(現在はキャップの軽量化によって 1,000 個で一人分のワクチンを購入)

◆ 社会貢献型職域限定 EC サイト「CLOSED Mart(クローズドマート)」



2022 年 12 月より食品・商品廃棄ロスに資する取組みとして「CLOSED Mart(クローズドマート)」を導入。様々な理由で一般市場への流通が困難な食品・商品を社員が購入することにより、無理なく廃棄ロスに貢献できるほか、お得に商品を購入することができるため、福利厚生の充実にも繋がっています。また、売り上げの一部を途上国の子どもや女性を支援している国際 NGO プラン・インターナショナルを通じて寄付しています。



◆ ライトダウンキャンペーンへの参加



毎年 6 月 21 日(夏至)と 7 月 7 日(七夕)に CO₂削減による地球温暖化防止の為に、取り組みを継続していきます

・実施内容：全店舗で屋外看板の消灯

↓ライトダウンキャンペーンサイトのリンク

<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolearthday/>

～ 社会貢献活動の取り組み ～

◆ 使いきって(切手)運動

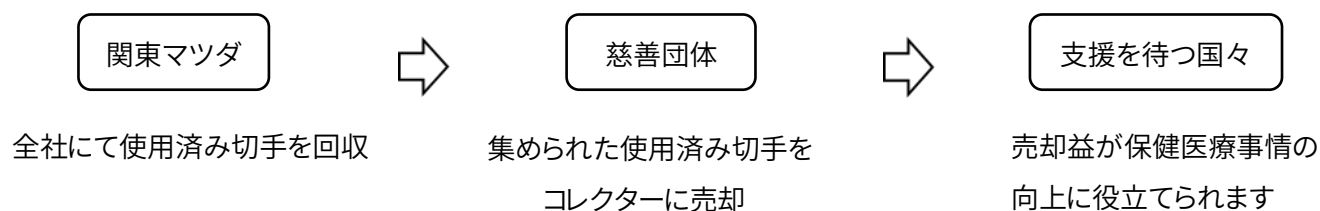


2018 年 10 月より本社・店舗に送られてくる郵便物から使用済み切手を収集し、慈善団体を通じて売却した利益を世界中の医療福祉事業の向上に貢献しています。封筒に貼ってある使用済み切手（切手の額面は問いません）を海外の医療支援に役立てる取組みを実施してアジアやアフリカの保健医療事情向上のために役立てます。

・使用済み切手活用例

- 約 5,000 枚 (1.0 kg)・・・タンザニアで、約 1 年分の看護学校の教科書代
- 約 12,000 枚 (2.4 kg)・・・インドネシアで、1 カ月分の助産師学校の授業料
- 約 20,000 枚 (4.0 kg)・・・ウガンダで、半年分の助産師学校の授業料

・使用済み切手が研修費等になるまで



使いきって(切手)運動実績

	枚数	重量 (g)
2023 年度	9,945 枚	2,095g
2023 年度	38,795 枚	2,975g
2025 年度	8,577 枚	1,752g
これまでの合計 (2018 年 10 月から)	75,425 枚	12,053g



◆ お客さまのご協力による平和への祈り

～マツダおりづるプロジェクト～



新型コロナウイルス感染症の流行によって平和記念公園（広島市）への折り鶴の献納数が減少してしまったことを、「広島に根差す企業として、マツダにできることはないだろうか？」と考え開始されたマツダグループ全体で取組むプロジェクトです。当社は2025年度から参加し、ご来店されたお客様、当社従業員が折った折り鶴を本社スタッフ、新入社員が千羽鶴にした後、マツダ(株)を經由して平和記念公園へ献納されました。

その後、献納された折り鶴は再生紙となり、マツダオリジナルグッズに使用されました。

関東マツダ 折り鶴献納実績

年度	集まった折り鶴
2025 年度	25,000 羽

集まった折り鶴を千羽鶴にした 2025 年度新入社員



板橋本店に飾られた千羽鶴



◆ フェアトレードペーパー「バナナペーパー」の導入

2025 年 6 月より「バナナペーパー」を名刺用紙として導入いたしました。「バナナペーパー」とは、今までは廃棄されていたオーガニックバナナの茎からとった繊維に、古紙や森林認証パルプを加えられて作られたエシカルな紙です。環境に配慮するだけでなく、原産地の人々の安定した雇用を生み出すことが出来ます。



バナナペーパーのロゴ

◆ 地域貢献活動 <地域の皆さまと強い繋がりを持つために>



・本社ならびに板橋本店がある板橋区大山町会のお祭りに参加・協賛

お神輿の担ぎ手として参加

お神輿の休憩所を提供



・板橋区 高島平ハーフマラソンに協賛

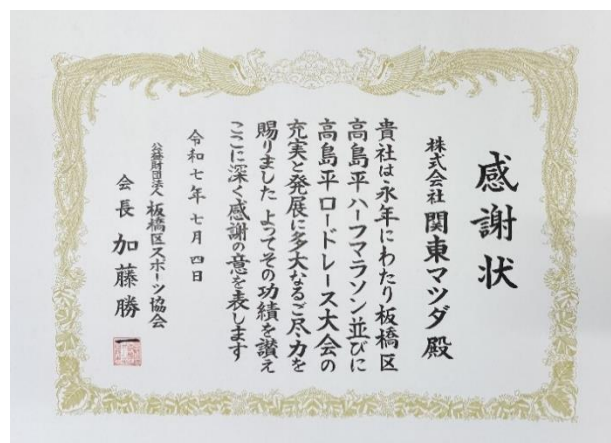
先導車・ドライバーの提供

(先導車は専門学校の学生がデザインしたレースカーを使用)

小学生ファンランの参加者へ参加賞の提供



高島平ハーフマラソンは、開催地である高島平地域まちづくりの整備工事が実施されることから、2025 年以降は中止となる
ことが決定され、2024 年度大会が実質最後の大会になりました。
2025 年7月 4 日に板橋区スポーツ協会からこれまでの
大会協賛と貢献に対して感謝状が授与されました。



・ハッピーロード大山商店街のハロウィンイベントに参加
イベント風景



参加した子供たちにお菓子をプレゼント



◆ 調布市の子育て応援サイト「赤ちゃんお出かけ安心マップ」に国領店を登録

お出かけ時、赤ちゃんの授乳・おむつ交換ができる場所として提供



コサイト様リンク

<https://cosite.jp/town/shop/shopothers/kantomazda/chofu/36243>

◆ 東京都、埼玉県、神奈川県、群馬県の「こども 110 番、かけこみ 110 番」に登録

「地域の子ども・高齢者・女性・急病人などお困りの方」が利用できる
店舗として登録し、地域に貢献しています。



東京都



神奈川県



埼玉県

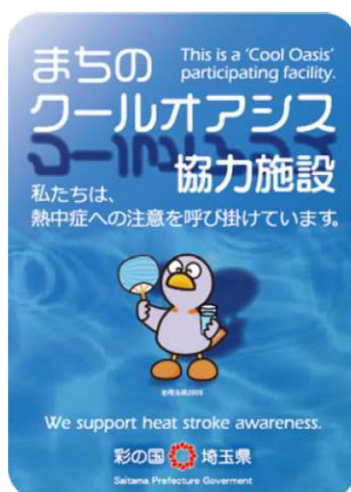


群馬県



◆ 6月1日～9月30日、埼玉県内で熱中症対策として「まちのクールオアシス」に参加

埼玉県内の店舗を高齢者や子供連れの方々など、暑さが厳しい日中に外出した際に体温の上昇や
水分不足により熱中症にかからないよう施設を一時的な避難場所として提供



◆ 東京都・神奈川県・埼玉県の店舗を「災害時帰宅支援ステーション」として登録

2020 年より災害時、帰宅困難者にトイレや休憩場所の提供を行う店舗として登録開始

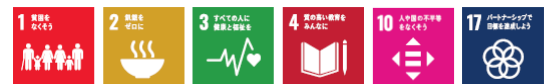


◆ 交通安全運動の実施(交通事故防止の対策強化)

リフレクター(反射材)等をお客様や近隣住民・保育園などに贈答、全国交通安全運動街頭活動に参加して事故のない住み続けられる街づくりを目指します。



◆ 交通遺児等援護 100 円募金への参加(対象：埼玉県内の店舗、本社)



1991 年から交通遺児等(交通事故により死亡又は重い障害を負った保護者に養育されている児童又は生徒)へ経済的な援護を目的とした募金活動への参加

年度	金額
2023 年	114,676 円
2024 年	113,117 円
2025 年	109,812 円

◆ 災害対応型自販機の導入

災害時に被災者へお飲み物を提供できる災害対応型自販機を一部店舗に設置



◆ 地域清掃活動の実施

きれいな街づくりのため、社員が各店舗・本社周辺の清掃活動を実施



～ 教育の取り組み ～

◆ ウォーク・アラウンド・コンテスト(接客商談コンテスト)

全国のマツダ販売会社スタッフがお客様に最適なご提案をするため
日頃の接客スキルを磨き競うロープレコンテストです。

各事業部から選手が選抜され、社内選考を実施。

代表選手が地区大会へ進み、全国大会を目指しています。



◆ サービス技術大会

車両整備における技術と受付対応スキルの向上のため、各事業部から
選抜されたスタッフが勉強会やトレーニングを行い、社内選考を実施。

代表選手が地区大会へ進み、全国大会を目指しています。



◆ 地域の小中学校などからの職場体験・見学

自動車に関わる仕事を知ってもらう活動として店舗近隣の小中学校や保育園などから職場体験と見学の
受け入れを実施

実施店舗:板橋本店、高田馬場店、上北沢店、青梅野上店、戸塚店、大宮南中丸店、蓮田店、鶴ヶ島インター店



作業体験



店舗見学



◆ 外国人技能実習生の受け入れ

海外マツダ販売社のエンジニアスタッフを受け入れ、技術向上のため実地研修を実施



～ 健康経営の取り組み ～

関東マツダ健康宣言

関東マツダに働く社員とその家族の健康の確保は、企業活動の基盤であり、経営の重要課題です。
「社員満足」の企業理念の下、社員一人ひとりを大切に、職場環境を整備すると共にその増進に努め、
お客様からも選ばれ続ける、社員が誇りを持てる会社を目指します。

代表取締役社長 鈮持 豊

健康経営管理指針

目的 働きやすく、全社員が輝き続けられる職場環境を形成する

体制 代表取締役社長が中心となり、安全衛生委員会、産業医、労働組合や健康保険組合など外部機関とも連携をとりながら健康経営を推進する。推進活動の進捗状況は定期的に経営者会議や部門長会議等で報告・共有する

取組内容

社員が自律的に健康保持・増進に取り組めるよう、積極的に支援する

1. 健康診断・ストレスチェックの100%実施
2. 安全衛生推進者(店長・マネージャー)や健康推進担当者への研修を強化し、健康に対する意識・知識を高める
3. 職場のコミュニケーションを活性化し、職場環境の改善、メンタル不調者の早期発見・予防に努める
4. 規程・体制を整備し、より働きやすい職場を目指す



経済産業省が制度設計を行い、日本健康会議が認定している『健康経営優良法人 2025』の認定を取得



健康経営推進体制相関図

健康経営課題

メンタルヘルス不調等ストレス関連疾患を抱えた社員の早期発見・対応

改善目標

- 1. 健康推進担当者・管理職向けにセミナーを行い、メンタルヘルスに対する見識を深める
 - 2. ストレスチェックを活用し、不調者の早期発見を図る
- ストレスチェック受診率 100 パーセントを目指す

改善施策

- 1. 半年に1度、健康推進担当者や管理職向けに産業医等の専門機関から研修を受ける機会を設け不調者への対応の仕方や不調者の傾向など予防に関する知識を深める
- 2. ストレスチェックを「心の健康診断」として捉え、定期健康診断同様、毎年受けるものとしてその重要性を理解してもらう。また、PC を持たない社員も受診しやすい環境を整える

定期健康診断実施状況

	対象人数	受診率
2023 年度	2,221 人	99.9%
2024 年度	2,051 人	99.9%
2025 年度	2,046 人	99.1%

健康企業宣言認定書



健康経営優良法人認定書



◆ 健康増進のための取組み



- ・社内・店舗に設置している自販機の飲料のカロリーを表示



買う前に・・・カロリーチェックしてますか？

◆「ゼロカロリー」なのにカロリーがあるかも？ 食品表示の正確性
「ゼロカロリー」「ノンカロリー」と表示できる基準：100ml当たり5kcal未満
※糖成分の内容量が一定基準を下回ってれば、「糖」「ゼロ」「ノン」「レス」などと表示できます。
例えば500mlあたりの24.5kcalの飲み物でも「0kcal」と表示が出るのです。
これはスティッシュガ-2本分（1本3g）のカロリーに相当します。

●参考 一般的な飲み物のカロリー表

品名	容量	kcal	品名	容量	kcal
牛乳	100ml	5	コーヒー ブラック	100ml	4
烏龍茶	100ml	0	コーヒー 加糖	100ml	30
紅茶	100ml	1	コーヒー ミルク入り	100ml	20
抹茶	100ml	10	コーヒー インスタント	100ml	28
煎茶	100ml	2	ミルクココア	100ml	412
綠茶	100ml	0	ヨーグルト	200ml	52
ほうじ茶	100ml	0	サイダー	200ml	82
玄米茶	100ml	0	ジュース オレンジ	200ml	55
麦茶	100ml	1	ジュース りんご	200ml	51
焙じり茶	100ml	6	ジュース グレープフルーツ	200ml	77
煎茶茶	100ml	1	ジュース グレープ	200ml	105
			ジュース パイナップル	200ml	103

8F 自販機カロリー表（アサヒ）

	品名	カテゴリー	カロリー表記（100mlあたり）
上段	ドデカミストロング	炭酸飲料	26kcal
	ロイヤルミルクティー	紅茶	42kcal
	なだろ 日本茶	緑茶	0kcal
	モンスタースタージュ	炭酸飲料	50kcal
	WONDA 極 BLACK	コーヒー	0kcal
中段	おーいお茶	緑茶	0kcal
	十六茶	ブレンド茶	0kcal
	十六茶 麦茶	麦茶	0kcal
	カルピスウォーター	乳酸菌飲料	45kcal
	WILKINSON LEMON	炭酸水	0kcal
	WILKINSON TANSAN	炭酸水	0kcal
		ミネラルウォーター	0kcal
下段	WONDA X BETTER BLACK	コーヒー	55kcal
	WONDA アイスマウンテン	コーヒー	22kcal
	WONDA 極 BLACK	コーヒー	0kcal
	WONDA 極カフェオレ	コーヒー	28kcal
	世界一のバリスタ炭焼 炭焼	コーヒー	24kcal
	WONDA 味わいミルクコーヒー	コーヒー	42kcal
	L-92 守る働く炭酸水	乳酸菌飲料	60kcal

- ・社員同士の交流、運動習慣のきっかけとして全社員ソフトボール大会を開催



- 本社に社員が休憩できるためのリフレッシュルームを設置



- 社員の健康維持、災害対策用として各店舗に天然水ウォーターサーバーを設置

